

食料・農業・農村政策審議会 家畜衛生部会
第103回牛豚等疾病小委員会 概要

- 日時：令和7年5月21日（水）10時00分～12時00分
- 場所：農林水産省畜産局第1会議室
- 委員（50音順、敬称略）

臨時委員：佐藤 真澄、砂川 富正、津田 知幸（委員長）

専門委員：入江 正和、小淵 裕子、國保 健浩、嶋田 誠司、
長井 誠、山本 健久

オブザーバー：呉 克昌、迫田 義博

- 概要：

1 豚熱ロードマップの策定について

- ・ 豚熱の現下の発生状況やこれまでの対策の効果を踏まえつつ、関係者が連携し、清浄化に向けた道筋を示す「豚熱清浄化ロードマップ」の案について報告された。

2 豚熱の殺処分範囲の見直しについて

- ・ これまでの発生事例やワクチン接種豚の免疫付与状況の調査で得られた知見を踏まえ、現行のワクチンの用法及び用量に従い補強接種され、接種後十分な期間が経過している繁殖豚（繁殖候補豚を含む。）を殺処分の対象から除外したとしても、現行の対応と比較して豚熱がまん延するリスクに変化はないと考えられた。なお、これを実施するにあたり必要なリスク管理措置等の詳細な運用について更に

検討することとされた。

- ・ 今後、法制度の見直しの要否も検討を行った上で、豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の見直し等、所用の手続きを進めるとともに、更に肥育豚等の殺処分の適用範囲の見直しが可能か検討するため、引き続き、知見・データの集積が必要とされた。

(以上)